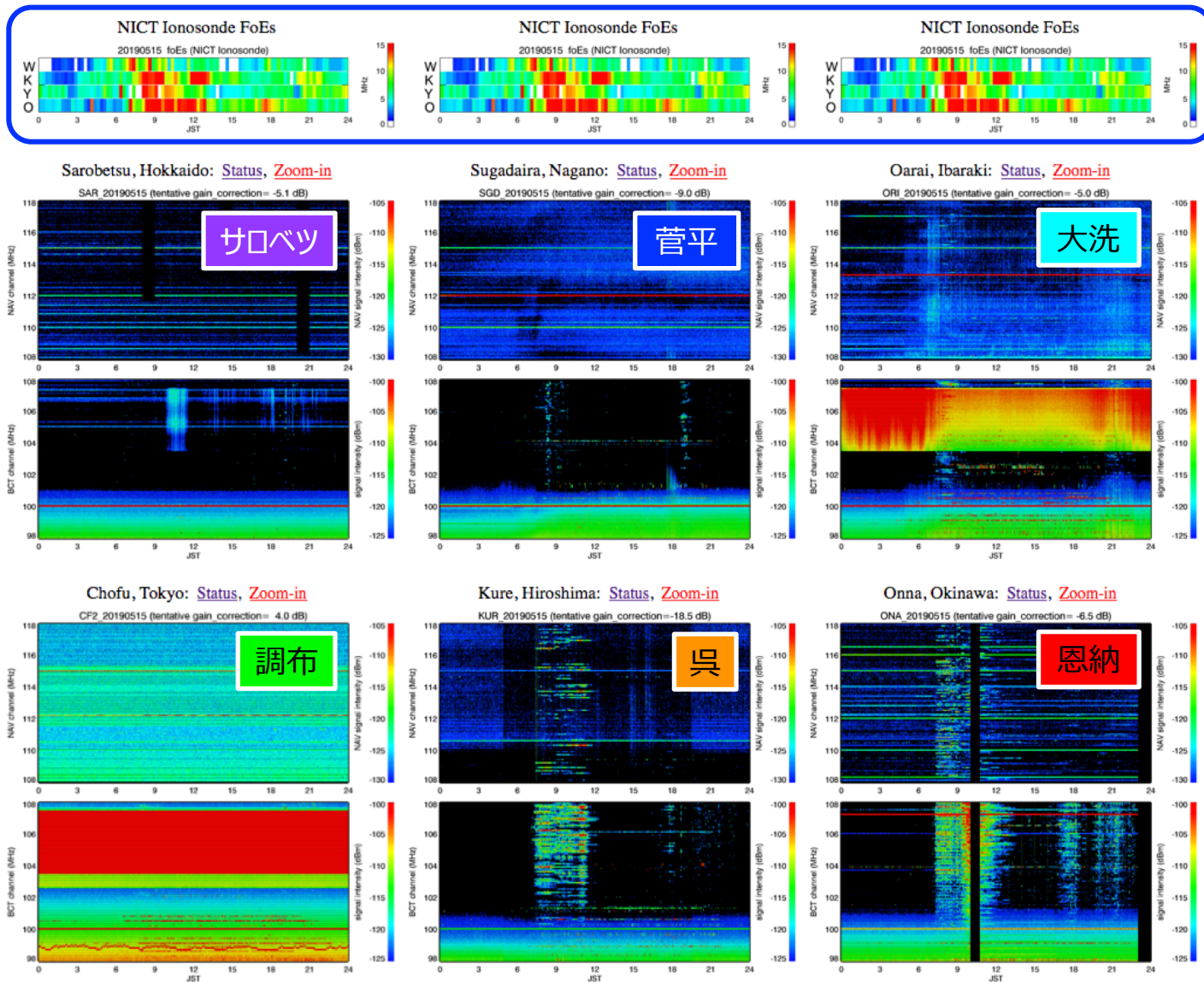


リアルタイムデータ表示システム

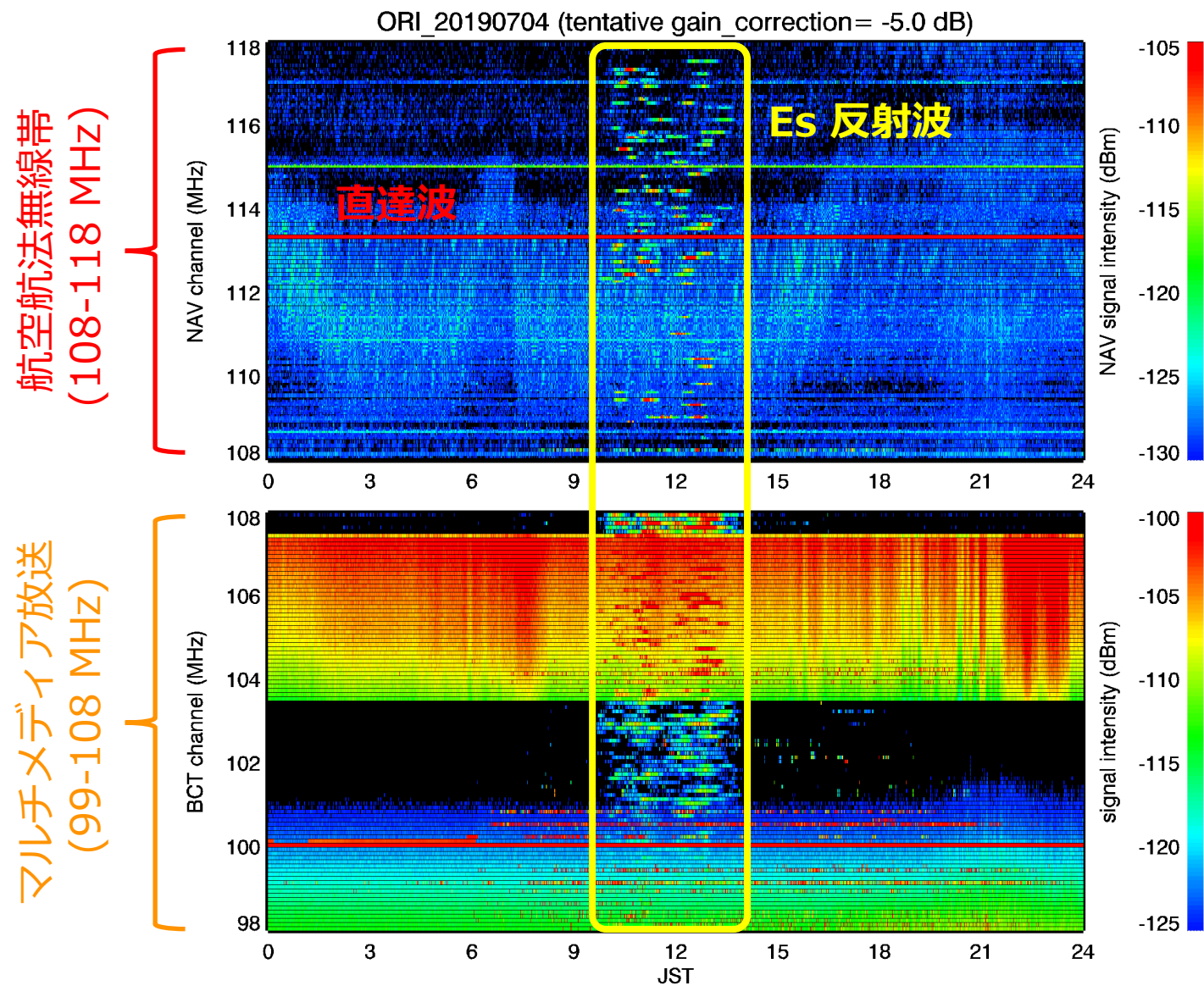
NICT イオゾンデ

- 国内 6 地点での観測を準リアルタイム（1 時間遅れ）で表示
- 最上段は NICT のイオゾンデで得られた foEs, 稚内 (W) 国分寺 (K) 山川 (Y) 沖縄 (O) の 4 地点のデータ
- スプラディック E が発生すると暖色系の色になる, 赤が 15 MHz
- この例は 2019 年 5 月 15 日, Es が 08-12 JST で発生, VHF 電波の異常伝搬が少なくとも呉と恩納で検出されている



詳しいデータの見かた

- 2019 年 7 月 4 日の大洗（茨城）での観測例，10-13 JST で Es 反射に伴う VHF 電波の異常伝搬が発生
- 通常は -125 dBm 以下になっている受信電界強度が，複数の周波数において -120 dBm を超える状態に継続的になっている
- 24 時間継続している線は直達波
- 98-108 MHz の放送帯のほうが，弱い Es にも反応する，108-118 MHz の航空航法無線帯は強い Es でないと反応しない場合が多い



観測の感度（ゲイン） 較正について

感度較正值

- 2019 年 5 月 1 日以降（調布の観測については同年 6 月 11 日以降）の観測については、受信機の感度（ゲイン）の較正が行われており、観測点間で受信電界強度の差異がない
- アナログ受信機を用いて航空航法無線帯（108-118 MHz）のみを計測していた時期についても、感度較正值は正確
- 2019 年 5 月 1 日以前のデジタル受信機による観測については、感度較正值が不正確な可能性があるため、受信電界強度の絶対値を用いる場合には注意を要する

航空航法無線帯
(108-118 MHz)

マルチメディア放送
(99-108 MHz)

